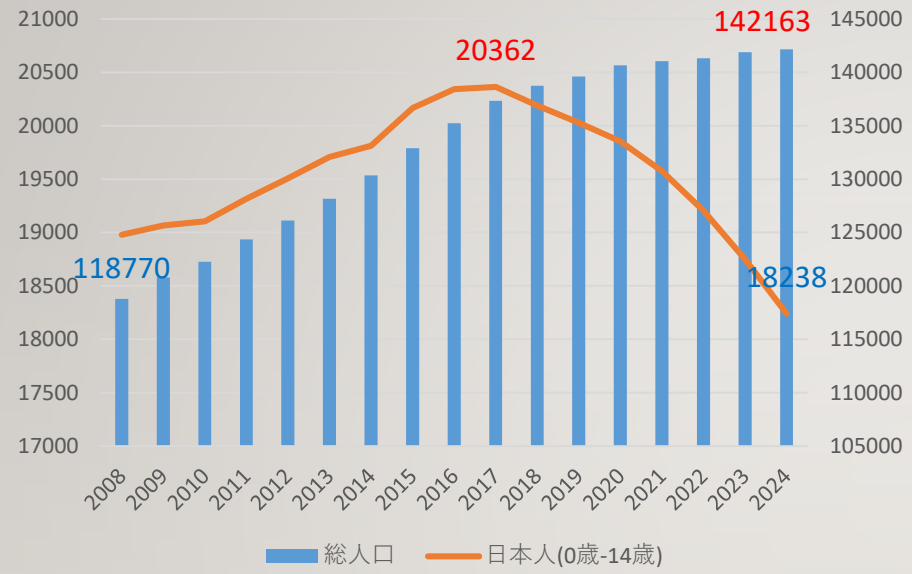
教育委員提案②

2024.11.21 教育委員提案説明資料

学校施設以外での子供のサポート、居場所について

データから見る戸田市の子供の現状

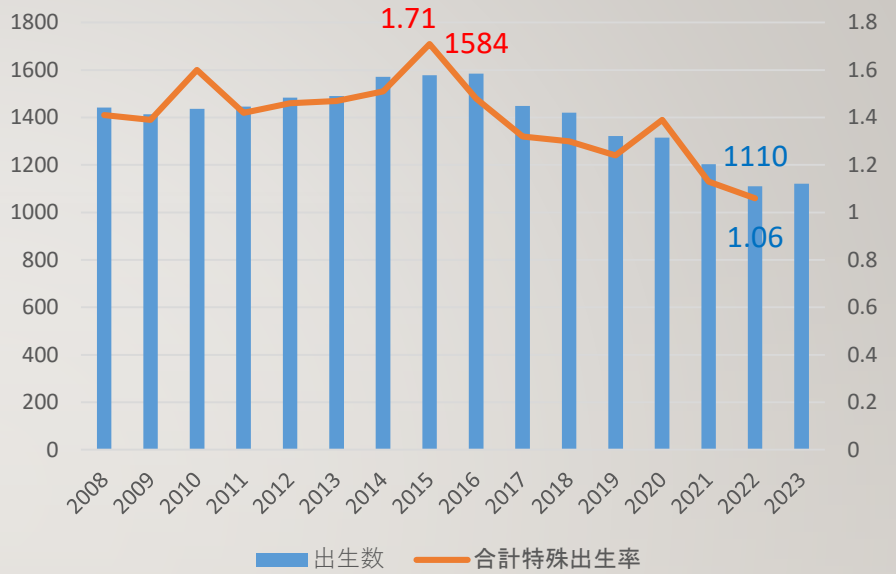
総人口と年少人口



【概要】
- ✓ 総人口の最大値142,163人、最小値118,770人
  16年間で**19.7%の増加**
- ✓ 年少人口の最大値20,362人、最小値18,238人
  7年間で**10.4%の減少**
- ✓ 外国人住民の年少人口は2008年(284人)から2024年(1,054人)の16年間で**3.7倍の増加**

➢ 今後、緩やかに少子化が進行していくか

出生数と合計特殊出生率



【概要】
- ✓ 出生数の最大値1,584人、最小値1,110人
  6年間で**29.9%の減少**
- ✓ 合計特殊出生率の最大値1.71、最小値1.06
  7年間で**0.65ポイントの減少**
- ✓ 20歳から39歳の女性人口は2008年(21,023人)から2024年(21,610人)の16年間で**2.8%の増加**

➢ 女性人口は安定していることから、出生数の低下に歯止めがかかるか

子供たちの放課後や週末の過ごし方

質問事項

➢ 放課後や週末に何をして過ごすことが多いですか(複数選択)　出典:令和6年度全国学力・学習状況調査

小学生



	1.家で勉強や読書をしている	2.放課後子供教室や放課後児童クラブ(学童保育)に参加している	3.地域の活動に参加している(地域学校協働本部や地域住民などによる学習・体験プログラムを含む)	4.学習塾など学校や家以外の場所で勉強している	5.習い事(スポーツに関する習い事を除く)をしている	6.スポーツ(スポーツに関する習い事を含む)をしている	7.家でテレビや動画を見たり、ゲームをしたり、SNSを利用したりしている	8.家族と過ごしている	9.友達と遊んでいる
全国(公立)	49.3	5.7	4.4	24.4	38.2	46.7	79.1	65.6	64.2
埼玉県(公立)	50.2	4.6	3.3	26.3	39.7	47.4	79.2	66.0	66.7
戸田市	47.6	4.3	2.9	31.0	43.8	47.0	79.6	62.0	71.1

中学生



	1.学校の部活動に参加している	2.家で勉強や読書をしている	3.地域の活動に参加している(地域学校協働本部や地域住民などによる学習・体験プログラムを含む)	4.学習塾など学校や家以外の場所で勉強している	5.習い事(スポーツに関する習い事を除く)をしている	6.スポーツ(スポーツに関する習い事を含む)をしている	7.家でテレビや動画を見たり、ゲームをしたり、SNSを利用したりしている	8.家族と過ごしている	9.友達と遊んでいる
全国(公立)	71.1	46.1	3.9	38.5	23.6	30.4	88.6	68.0	62.3
埼玉県(公立)	77.1	45.3	2.7	47.1	22.6	28.7	89.1	66.9	61.8
戸田市	74.5	43.7	2.2	51.4	21.2	28.6	90.6	65.7	68.7

◆全国の小中学生に共通して「**家でテレビや動画を見たり、ゲームをしたり、SNSを利用したりしている**」が最も多い。
◆全国の小中学生に共通して「**地域の活動に参加している**」が最も少ない。
◆戸田市の小中学生の「**学習塾など学校や家以外の場所で勉強している**」割合が全国・埼玉県に増して高い。

【参考】県南4市の学習塾の状況

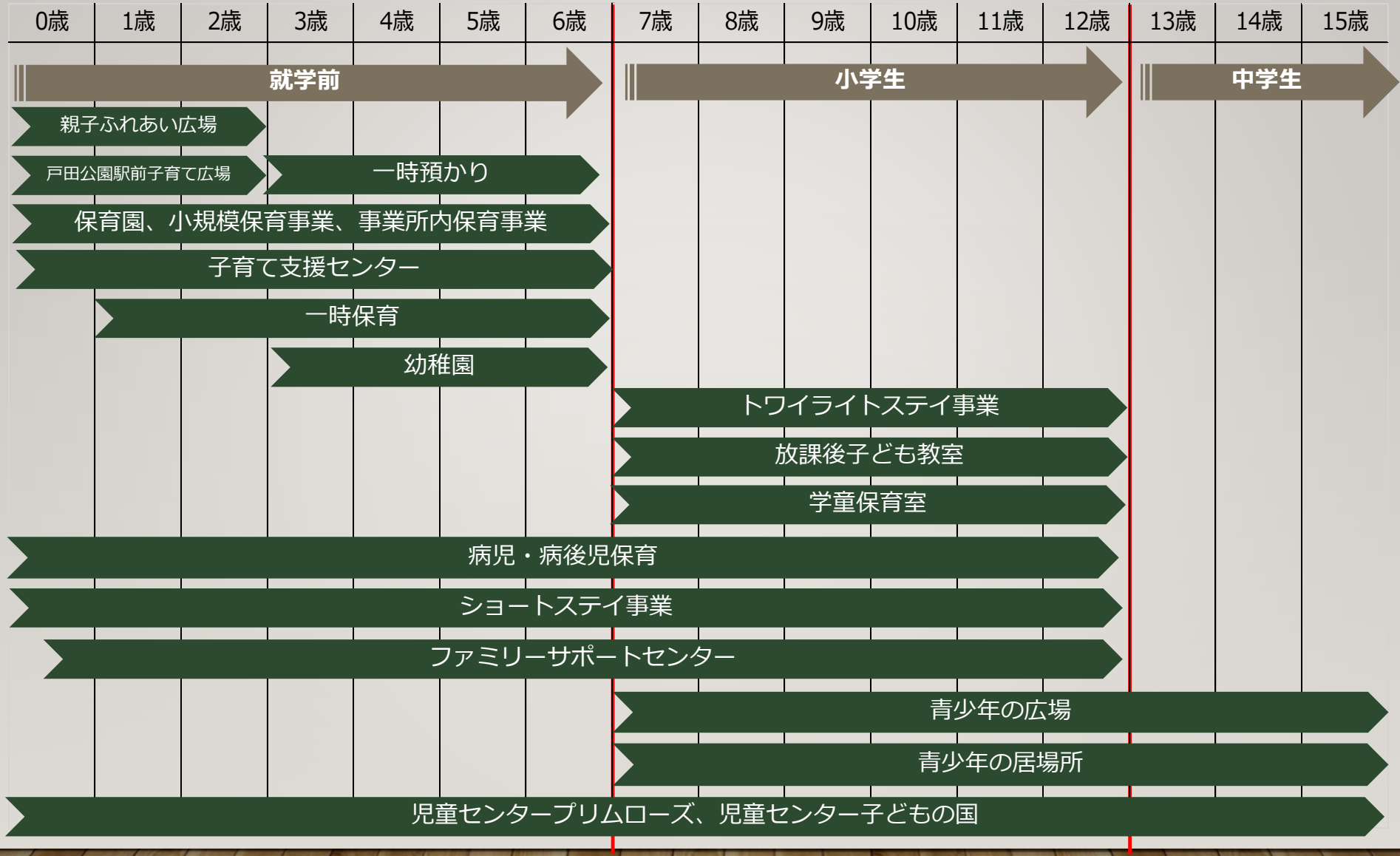
令和３年経済センサス
-活動調査 事業所に関する集計 産業横断的集計 事業所数、従業者数

地域	人口	総数	内訳			10,000人当たりの塾数
			個人	会社	会社以外の法人	
戸田市	141,033	69	32	37	-	4.89
さいたま市	1,329,901	633	242	388	3	4.76
川口市	607,352	215	103	112	-	3.54
蕨市	75,889	19	7	12	-	2.50

【備考】
この調査における「学習塾」の定義とは。
✓ 小学生，中学生，高校生などを対象として学校教育の補習教育又は学習指導を行う事業所をいう。
✓ 学習塾（各種学校でないもの）、進学塾（各種学校でないもの）、予備校（各種学校でないもの）

https://www.e-stat.go.jp/dbview?sid=0004005689

学校施設以外の主な子供のサポート、居場所早見表



代表的な子供のサポート体制

保育園等



- **保育園**
  公立　7園　民間37園
- **小規模保育事業**
  民間11園
- **事業所内保育事業**
  民間　2園

定員合計3,808人

◆特色のある保育内容の一例(民間)
毎日30分程度「サークルタイム」という英語の時間があり保育士の資格を有した外国籍の保育士が講師となる。

幼稚園



- **幼稚園**
  民間10園

定員合計2,740人

◆特色のある教育内容の一例
1日10時間以上の開園、夏休み期間の実施など、預かり保育時間を拡大している園もある。
令和元年10月からの幼児教育・保育の無償化により、教育時間に加え、保育の必要性の認定を受けた者は、預かり保育時間も無償化の対象となる。

学童保育室



出典:一般社団法人merry attic　HP

- **学童保育室**
  公立24園　民間26園

定員合計2,301人

◆特色のある保育内容の一例(民間)
午後7時以降の延長保育、軽食サービスや、そろばん、習字、音楽、英会話などの学習指導、ダンス指導、水泳教室やサッカー教室への送迎など、民間独自のサービスを別途料金(上限保育料7,800円＋α)を徴収し実施している。

小学生以降対象の居場所事業

放課後子ども教室





内　容

■ 放課後に、余裕教室や校庭、体育館などを活用して、スポーツ・文化活動・交流活動などを実施

対　象

■ 小学生(登録制、保険料700円)

場　所

■ 全小学校(ただし、現在、スタッフ人材不足により未実施の小学校がある)

青少年の居場所





内　容

■ 放課後に、スポーツや勉強など自由に過ごす居場所を開催

対　象

■ 小学生から高校生まで

場　所

■ 東部福祉センター、新曽福祉センター、心身障害者福祉センター、新曽南多世代交流館、笹目コミュニティセンター
(追加施設)　10月～　福祉保健センター
11月～　図書館

新たな子供の居場所

✓ **こどもの居場所とは**

令和5年12月22日閣議決定「こどもの居場所づくりに関する指針」(こども家庭庁)

こども・若者が過ごす場所、時間、人との関係性全てが、こども・若者にとっての居場所になり得る。すなわち居場所とは、物理的な「場」だけでなく、遊びや体験活動、オンライン空間といった多様な形態をとり得るものである。



\ たべる /

✓ **こども食堂**

11団体　15か所

こどもが一人で安心して利用することができる無料または低額で飲食することができる場



\ まなぶ /

✓ **学習支援教室**

4団体　4か所

学習習慣の定着や基礎学力の向上を図るため、学習支援を行っている場



\ あそぶ /

✓ **プレーパーク**

1団体　2か所

遊びや創作などを通じて、様々な体験を得られる場

居場所づくりに取り組む団体と、その活動に賛同する企業等との交流、情報共有、資源のマッチング等の支援を行うことで、居場所の輪（ネットワーク）を広げていくことを目的に令和5年11月に「戸田市こどもの居場所ネットワーク」を設置

【ネットワークの主な活動】①ネットワーク会議　②居場所の情報発信　③支援物資マッチング

民間事業者による宿泊を伴った子育て支援の居場所

全国的にユニークな取り組み

内容	**専用の施設で宿泊を伴って小学生を対象に一時的に預かる**取り組み ※戸田市のほか京都市でも実施
目的	**子育て家庭に「ゆとり」をつくり、子育て疲れを解消する**
運営	**一般社団法人merry attic** 2023年8月から2024年２月末まで 毎週末金曜日～日曜日に開所
料金	**700円/1泊2日(食事つき)**

令和5年度

merry attic near
利用者実績

延べ利用人数	406	名/7ヶ月
登録世帯数	62	家庭



親子とも近いうちに、数か月おきに「また利用したい」が 100.0%

▲戸田市　merry attic near

仕事の部署移動などでストレスが溜まっていました。
休日も仕事は休みでも、子どもの面倒を見ないといけない。ついカッとして、強い口調で怒鳴ってしまったり、手をあげそうになったりしたこともありました。休日、**子どもを預かってくれることで、自分自身のケアになり、いつも通り子どもと笑顔で話せるようにな**りました。

週末、夫が不在のことが多く、ひとりで3人のこどもをみるのは正直負担でした。休息がとれず、週末に更に疲労が溜まっている状態でした。
私自身の時間もとることができ、リフレッシュできました。

近隣に親戚が居ない事から、夫婦のみで子育てをしてきましたが、こちらを利用させて頂く事で、**心に余裕を持てるようになりました。**

資料提供:一般社団法人merry attic

日本財団子ども第三の居場所事業

✓ 「子ども第三の居場所」とは。

生活や学習等の環境に困難を抱える子どもを支援し、一人一人の子どもが将来の自立につながる力を身につけることを目的に、子どもが安心して過ごせる家でも学校でもない第三の居場所として、居場所や学習支援、体験活動、継続的な保護者・子どもへの個々に応じた支援を提供する。

日本財団が平成２８年１１月に**全国第１号拠点**が戸田市内に開設。令和2年度から戸田市に移管。

子どもの居場所事業委託先:特定非営利活動法人Learning for ALL

小学生の居場所

- 対象学年
  小学1年生～6年生
- 開催日
  月曜日、水曜日、金曜日
- 開催時間
  14:00～19:00(最大20:00)

※ 火曜日、木曜日も夕食のみ提供(18:30入室～19:30退室)
夜の入室となるため保護者の送迎が必要

中高生の居場所

- 対象学年
  中学1年生～3年生
  高校1年生～3年生
- 開催日
  火曜日、木曜日、土曜日
- 開催時間
  火曜日、木曜日
  14:30～19:30(最大20:00)
  土曜日
  14:00～18:00(16:00～18:00は学習の時間)

保護者カフェ

- 対象者
  居場所登録世帯の保護者
- 実施曜日/頻度
  土曜日/月2回程度
- 実施時間
  12:00～14:00

※　実施日、実施時間は変更の可能性あり

対象世帯：生活保護、児童扶養手当、ひとり親医療、就学援助受給世帯を基本とする生活困窮世帯者



詳細は、

- 令和6年度版「戸田市子育て応援BOOK」
- 「戸田市こどもの居場所」サイトをご覧ください。